

# 2018年山口県総合防災訓練に

## 山口支部が参加しました！

国交省との意見交換会を行いました。

県知事及び県議会議長に対し、要望書を提出しました。

平成30年6月17日、山口市鋳銭司の県消防学校を主会場に「2018年山口県総合防災訓練」が実施され、山口県建設業協会山口支部が参加しました。

山口県総合防災訓練は、住民・地域団体と県・市町などの防災関係機関が協働し、災害時の連携の強化や対応の確認を図るもので、平成30年度は消防や警察、自衛隊、医療機関など95機関約1700人が参加。「断続的に雨が降り続く中、大規模な土砂災害や河川の決壊が発生。最大震度7の地震が発生し、ライフルインが寸断、建物倒壊等が発生」という被害想定のもと、同会場のほか、防府市でも訓練が行われました。

本協会山口支部からは石山建設株の石山克之代表取締役と同社の甲斐直樹さんが参加し、通行不能となつた道路の土砂を撤去し、ライフルインを確保する訓練を行いました。

石山代表取締役にお話を伺うと「災害とひとことに言つても、現場状況とも毎回違う。

近年でも国道の迂回路を作つたり、市街地地下道の水を汲み出したりと対応はさまざま。日頃から準備をし、要請があればいつでも対応できるようにしていました。

また同社の甲斐さんは「災害の現場では救助や復旧作業など多くの人が動くので、巻き込みなどがないように周りをよく見て作業することを心がけています」と話していました。

本協会では山口県と「大規模災害時における応急対策業務に関する協定書」（平成10年）、「家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定書」（平成29年）を締結。平成28年には本協会会长が「県防災会議委員」に任命され、平成29年、灾害予防・応急・復旧で重要な役割を果たす機関として災害対策基本法に基づく「指定地方公共機関」に指定されています。今後とも地域の安全安心のため、行政等関連機関と連携を深めながら防災活動に取り組んでいきます。

本協会では、平成30年8月1日に山口河川国道事務所と、12月26日に中国地方整備局と意見交換会を行いました。

この会議には、本協会から正副会长長をはじめ、議題を提出した会員企業や常置委員長などの関係役員が出席し、また、国からは、山口河川国道事務所との会議では所長、副所長等が、中国地整では企画部長、技術調整管理官等が出席し、真摯に質疑応答やフリートークングが行われ、有意義な意見交換会となりました。

更に、平成31年1月17日には、企業実務担当者と山口河川国道事務所との意見交換会も開催され、企業関係者32人と多くの参加のもと、様々な意見・要望が出され、国事業に対する関心が年々高まっていることをうかがわせるものでした。

会談では和やかな雰囲気の中、成功裏に終わった山口ゆめ花博や、7月豪雨対応、大島大橋衝突事故の復旧等についても話題となりました。

平成30年12月14日、正副会长長が村岡知事、柳居県議会議長を訪問し、平成31年度県予算に対する本協会の要望書を、直接手交し、「公共事業予算の安定的な確保」や「県内企業への優先発注」などのほか、新たに「ゼロ県債の活用による発注時期の平準化」等を要望しました。

会談では和やかな雰囲気の中、成功裏に終わった山口ゆめ花博や、7月豪雨対応、大島大橋衝突事故の復旧等についても話題となりました。

## 建設 TOPICS



今回の訓練にはドローンが初めて使用されました



石山建設株の石山代表取締役(左)と甲斐さん(右)



速やかに土砂の撤去を行いました



村岡嗣政知事



柳居俊学議長

